

2026年7月7日

商号 SBIアセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第311号  
 加入協会 一般社団法人資産運用業協会

『SBI・ピクテ資源国通貨プレミアムファンド（年4回決算型）』設定のお知らせ  
 ～資源国の成長力と通貨価値上昇期待に着目 資源国通貨建て債券と金へ分散投資～

SBIアセットマネジメント株式会社は、資源国<sup>※1</sup>の通貨価値上昇期待と相対的に高い金利水準に着目し、資源国通貨建てのソブリン債券<sup>※2</sup>および準ソブリン債券<sup>※2</sup>に加え、金<sup>※3</sup>の現物にも分散投資を行う公募投資信託『SBI・ピクテ資源国通貨プレミアムファンド（年4回決算型）』（愛称：グローバル資源プレミアム、以下「本ファンド」）を2026年8月6日（木）に設定し、運用を開始いたします。

ファンド名	SBI・ピクテ資源国通貨プレミアムファンド（年4回決算型） （愛称：グローバル資源プレミアム）
実質的な負担（年率・税込）	年0.991%程度
決算日	原則として、毎年2月、5月、8月、11月の各15日 休業日の場合は翌営業日
NISA対応	「成長投資枠」対象（予定）
当初申込期間	2026年7月23日（木）～2026年8月5日（水）（予定）

足もとの世界の株式市場ではAI・半導体関連銘柄への資金集中が続く一方、世界的な人口増加や新興国の経済成長、さらにエネルギー転換やインフラ投資の拡大を背景として、中長期的な資源需要の拡大が期待されています。こうした環境下では、資源価格の上昇が資源国<sup>※1</sup>の経済や通貨を支える要因となることが期待されており、資源国通貨は次の成長領域への投資先として注目されています。

また、資源国<sup>※1</sup>の多くは相対的に高い政策金利を維持しており、魅力的な利回り水準を享受できる投資環境が続いています。さらに、日本円や米ドルなど主要通貨とは異なる値動きをする資源国通貨へ投資することで、通貨分散によるポートフォリオの安定化も期待できます。

本ファンドは、プライベートバンクをルーツに持つ世界有数の独立系資産運用グループであるピクテ・グループ（以下「ピクテ」）が運用する投資信託証券を通じて、主として新興国を中心とした資源国<sup>※1</sup>の現地通貨建てソブリン債券<sup>※2</sup>および準ソブリン債券<sup>※2</sup>に実質的に投資します。資源国通貨への投資を通じて、高水準のインカムゲインに加え、通貨価値上昇による収益の獲得をめざします。さらに、金<sup>※3</sup>を組み入れることで、インフレや地政学リスクへの備えに加え、株式・債券とは異なる値動きを活用した分散効果を取り込み、中長期的な資産価値の向上をめざします。

\*\*\*\*\*【本件に関するお問い合わせ先】\*\*\*\*\*  
 SBIアセットマネジメント株式会社 商品企画部 電話：03(6229)0170  
 （金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第311号、加入協会：一般社団法人資産運用業協会）

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

運用にあたっては、ピクテが長年培ってきた「資産保全」のノウハウを活用し、信用リスクを抑制しながら安定的なインカムゲインと資産成長の両立を目指します。

信託報酬は、資源国<sup>※1</sup>の債券を主な投資対象とするアクティブファンドとしては最低<sup>※4</sup>となる、年率0.991%（税込）程度を実現しています。

今後も「顧客中心主義」のもと、良質かつ低コストの運用商品を提供するとともに、投資家の皆さまの最適な資産形成に貢献してまいります。

以上

- ※1 投資時点で、エネルギー資源、鉱物資源、食糧・食料資源等の資源を産出する国で、その資源がその国の経済、日本の経済あるいは世界の経済に影響を与えられ国と定義。
- ※2 ソブリン債券：各国の中央政府やそれに準ずる機関が発行する債券の総称。準ソブリン債券：各国の中央政府やそれに準ずる機関が株式等資本の過半数を直接・間接的に保有し、実質的に支配している企業が発行する債券。本ファンドではルクセンブルグ籍外国投資信託『ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド - 資源国ソブリン・ファンド クラスP分配型受益証券』に投資します。
- ※3 スイス籍外国投資信託『ピクテ（CH）プレシヤス・メタル・ファンド - フィジカル・ゴールド クラスI JPY 受益証券』に投資します。
- ※4 資源国の債券を主要投資対象とする公募追加型のアクティブ投資信託（DC,SMA,ETF 等除く）を対象とし、ウエルスアドバイザー調べ（2026年7月6日時点）

\*\*\*\*\*【本件に関するお問い合わせ先】\*\*\*\*\*  
 SBIアセットマネジメント株式会社 商品企画部 電話：03(6229)0170  
 （金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第311号、加入協会：一般社団法人資産運用業協会）

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

【ご参考】

● ピクテ・アセット・マネジメントについて

・ピクテ・アセット・マネジメントは、1805年にスイス・ジュネーブで設立されたピクテ・グループの一部です。ピクテ・グループは、富裕層の資産管理を包括的に担うプライベートバンク業務から始まり、アセット・マネジメントビジネス、オルタナティブ戦略運用ビジネス、グローバルカストディビジネスを世界の幅広い顧客層に向けて提供しています。

・世界31都市に拠点を置き、グループの運用・管理資産残高は約149.7兆円です。(2025年12月末現在、適用レート：WMロイター1スイス・フラン=197.84円)

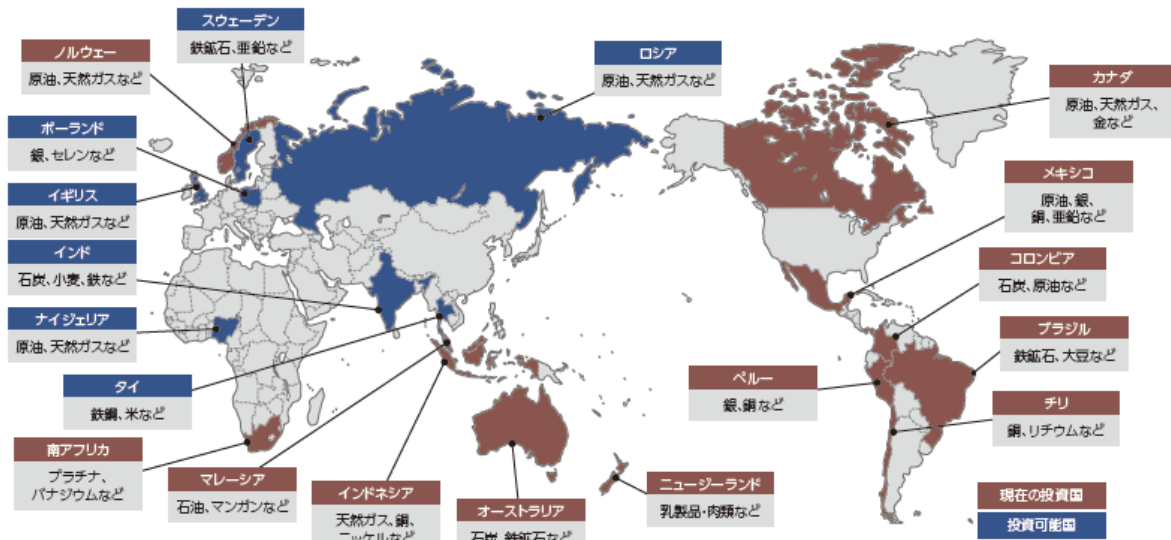
・独立系の会社として存続し経営の継続性を維持していくため、株式を公開せず、少数のパートナーシップ制による経営形態を採用しています。

・格付機関ムーディーズ社からAa2、フィッチ・レーティングス社からAA-を取得しています。(2025年9月現在)。

● 主要投資対象ファンドの概要

『ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー資源国ソブリン・ファンド クラスP分配型受益証券』

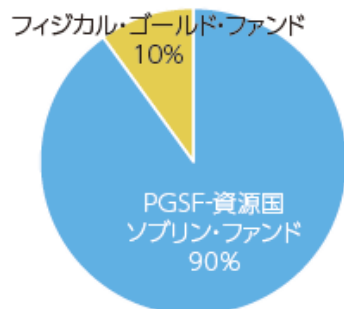
主に資源国<sup>※1</sup>の現地通貨建てのソブリン債券<sup>※2</sup>および準ソブリン債券<sup>※2</sup>に投資。長期的なトータル・リターン<sup>※3</sup>の獲得と安定的な収益分配を行うことを目的として運用。通貨や国別に分散投資を行います。



※ 現在の投資国は、2026年4月末現在。投資可能国には実際には投資しない国も含まれます。

出所：ピクテのデータを基にSBIアセットマネジメント作成

● 投資対象ファンドへの投資割合（イメージ）



※ 上記投資割合は本日時点のデータであり、今後変更となる可能性があります。

※ 資金動向、市場動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

## 投資信託にかかるリスク

本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産には為替リスクもあります。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆様には帰属します。

また、投資信託は預貯金と異なります。本ファンドの基準価額の主な変動要因としては以下のものがあります。なお、基準価額の変動要因は以下に限定されるものではありません。詳しくは各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご確認ください。

### 主な変動要因

- 債券価格変動リスク ●金の価格変動リスク ●為替変動リスク ●信用リスク ●カントリーリスク ●流動性リスク

### その他の留意点

- ・ 本ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ・ 本ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待される価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止される可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- ・ 投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- ・ 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。
- ・ 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間における本ファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- ・ 投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ・ 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

## お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

### (お買付時に直接ご負担いただく費用)

- お買付手数料 購入価額に3.3%(税抜3.0%)を上限として、販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。  
※詳しくは販売会社にお問い合わせください。

### (途中解約時に直接ご負担いただく費用)

- 信託財産留保額 ありません

### (保有期間中にファンドが負担する費用(間接的にご負担いただく費用))

- 信託報酬(2026年7月7日現在)  
実質的な負担 年0.991%(税込)程度

### ●その他の費用

信託財産にかかる監査報酬、信託事務の処理に要する諸費用、法定書類(目論見書、運用報告書等)の作成・印刷・交付にかかる費用、組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管に要する費用等の費用は、原則として受益者の負担とし、信託財産中から支払われます。なお、これらの費用は、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。

## 投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。